

九州国立博物館を愛する会

代表者

前田 和美

所在地

〒818-0058 福岡県筑紫野市湯町3-2-5 筑紫野市商工会館2階

設立年月日

2007年

URL

<http://aisurukai.net/>

【設立趣旨】

本会は、九州国立博物館（九博）を愛するものが集い、九州国立博物館を支援する会の理念と活動を継承し、より身近で親しみのある博物館の発展を願い設立されました。併せて、九州国立博物館をシンボルとした地域連携と、これに必要な人材育成につとめ、地域の発展と文化の向上や、交流による相互理解に寄与することを目的としています。九州国立博物館の理念の一つである地域市民との共生を博物館と共に目指して活動しています。



ロゴマーク

(九州国立博物館を愛する会HPより <http://aisurukai.net/>)

【沿革】

本会は、1988年(昭和63年)に設立された「九州アジア国立博物館を誘致する会」や1995年(平成7年)に設立された「九州(アジア)国立博物館を支援する会」を前身としています。2006年(平成18年)、国立博物館の誘致実現という目的を完遂したために解散となった「九州国立博物館を支援する会」に代わり、その理念と活動を継承し、博物館と地域・市民のかけはしとして本会が誕生しました。

2008年(平成20年)には会員数が150名を上回り、2009年(平成21年)には福岡県より「ふくおか社会貢献活動表彰【地域貢献部門】」に選出され、表彰されました。

「歴史豊かなまちづくり」「価値ある精神をもつひとづくり」を目指し、引き続き活動を拡大しながら現在に至っています。

【活動目的】

九州国立博物館の誘致実現に伴い「九州国立博物館を支援する会」が解散となった際、約18年間かけて残した活動やその成果を見送ることは、地域社会における価値ある芽を摘むことになると惜しまれました。会を引き継いだ本会としては、それらの理念や活動を継承しつつ、より身近で親しみのある博物館の発展を目的に活動を行っています。また、地域の発展と文化の向上を目指し、九州国立博物館をシンボルとした地域の連携や、それらに係わる人材育成に努めています。

【活動内容】

●「九博デー」

愛する会が支援する会から継続して行っているのが、この「九博デー」というイベントです。このイベントは九州国立博物館が太宰府へ設置されることが決定した3月22日を記念して毎年行われています。九博デーでは、愛する会の提案や伝えたい情報を講演会やパネルディスカッションなどの開催を通して、会員だけでなく多くの市民の方とともに考えてきました。

以下が最近取り組んだテーマです。

第12回 文化を未来に伝えるために・・・

第13回 過去から育む未来－九博のあるつくりの創造－

第14回 九博の宝物たち－開館5周年の成果とこれから

●「九博こどもフェスタ」

「九博こどもフェスタ」は、こども達が博物館に親しみを感じ、好きになってもらうことを趣旨としたイベントです。愛する会が企画し、九博ボランティアに協力を要請し、筑紫地域教育委員会や小学校とも連携し、協力して進めています。九州国立博物館には場所の提供という形で協力してもらいました。

2009年(平成21年)に初めて開催され、イベント参加者は約3,500人と大盛況であり、現在も継続的に行われています。



遺唐使すごろく



風車を作ろう

九博こどもフェスタの様子
(九州国立博物館を愛する会提供)

●まちづくりに関する各種イベント

支援する会から継続しているものでは、九州国立博物館の庭園や周辺道路のゴミ拾い・花植えなどの清掃活動を行う「ピッカ美化活動」や、太宰府市内開催イベントにおける九州国立博物館PRをかねての文化活動、国内外の研修見学交流旅行の実施が挙げられます。

愛する会としてははじめたものとしては、保存科学関係のイベントの支援や補助活動や、学習会の開催、九州国立博物館職員との交流会などがあり、活動の幅を広げています。



ピッカ美化活動
(九州国立博物館を愛する会提供)

【活動上の課題と今後の展望】

今後の課題としては、愛する会の認知度の向上、活動会員の底上げや若返りを図ることが挙げられています。現在はPR戦略として会報誌「アクト」の発行、ホームページ、ブログ、会員募集のクリアファイル(企業協賛)、各種団体や企業への勧誘説明を行っています。また、他にも活動資金の安定化や活動の継続性を高めることも課題として挙げられ、今後力を注ぐ必要があると考えています。